

第69回

# 福岡県公民館大会

令和6年8月7日(水)

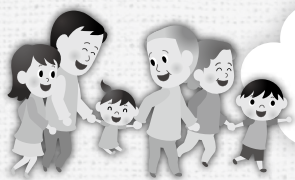
久留米シティプラザ



石橋文化センター

主催 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会





## 目次



|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 第69福岡県公民館大会 県公連会長挨拶 .....        | 1  |
| 第69回福岡県公民館大会 開催要項 .....          | 2  |
| 令和6年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役職員） ..... | 4  |
| 事例発表 .....                       | 6  |
| トークセッション .....                   | 38 |
| 講演 .....                         | 40 |
| 福岡県公民館大会年表 .....                 | 52 |

## ～開催地の紹介～

**石橋文化センター** 「世の人々の楽しみと幸福の為に」と、久留米市出身のブリヂストン創業者・石橋正二郎氏より寄贈された文化・芸術施設です。四季折々の花々や紅葉に彩られる広大な庭園を有するほか、久留米市美術館をはじめ、音楽ホールや図書館、画家の坂本繁二郎旧アトリエなどが点在しており、市民の憩いの場として、文化芸術の拠点として、多くの人々に親しまれています。

**久留米ラーメン** 久留米は、何と言っても「とんこつラーメン発祥の地」。豚骨を長時間煮込んで作られた白濁したスープに、ストレート麺がその特徴です。市内にはたくさんのラーメン店があり、それぞれで店主が工夫を凝らした味が異なるため、自分好みのお店を探すのも楽しみの一つ。飲み会後の締めにはラーメン店へ、これが久留米のスタイルです。

**久留米焼きとり** 久留米は、人口に対する店舗数が全国有数の焼きとりのまち。久留米焼きとりの最大の特徴は、そのバラエティの豊かさ。鶏や豚、牛、馬、魚介類、野菜、巻物など、各店自慢の焼きとりを堪能できます。医学部生たちが医学用語（ドイツ語）で呼び始めたのがきっかけといわれる「ダルム（腸）」、「ヘルツ（心臓）」などは、医師数が全国トップクラスの久留米ならではの呼び方です。

**久留米つつじ** 久留米市の花久留米つつじは、久留米市のシンボルであり、日本中で愛されている花です。また、日本だけでなく国際的にもクルマサザレアの名で親しまれています。公園や街路、家庭の庭でたくさんの種類を見ることができ、春には久留米市内のいたる所で色とりどりの花を咲かせています。「久留米森林つつじ公園」は、久留米つつじや平戸つつじなど61,000株が咲くつつじの名所です。また、この公園からは筑後平野を眼下に見渡せます。

## 第69回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶



福岡県公民館連合会

会長 武井 政一

第69回福岡県公民館大会が、県内各地から公民館関係者をはじめ多くの皆様の御参加をいただき、ここ久留米市におきまして、盛大に開催されますことを誠に嬉しく思っております。

また、この度、地域の公民館活動における顕著な御功績に対し、福岡県公民館連合会の表彰を受けられます皆様に、心から敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

昨今は「人生100年時代」と呼ばれ、私たちの生き方や社会の在り方も大きく変化しています。この長寿社会においては、長生きすると共に、心身ともに健康で充実した人生を送ることが求められています。ここで重要な概念となるのが「ウェルビーイング」です。

ウェルビーイングとは、単に健康であることだけではなく、個人が精神的、社会的にも満たされ、自分の人生に満足し、社会の一員として活躍できる状態のことです。そして、このウェルビーイングを実現するためには、個々人の努力だけではなく、地域社会全体の支援が不可欠であると言われています。

公民館は地域住民の交流の場であり、学びや活動を通じて互いに支え合うコミュニティの中核を担っています。つまり、公民館活動は、地域社会のウェルビーイングの向上に大きく貢献できる可能性を有しています。

これらのことを踏まえ、今年度の大会テーマは「地域住民がウェルビーイングを実現できる公民館を目指して！～人づくり・つながりづくり・地域づくり～」としています。今大会が、県内各公民館活動の、より一層の充実・発展につながり、ひいては地域住民のウェルビーイングの向上の一助となることを願っております。

結びに、大会開催に当たり、昨年度から準備を進めていただきました久留米市をはじめ、関係各位の御配慮に心からお礼を申し上げますとともに、公民館関係者の皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和6年8月7日



## 第69回 福岡県公民館大会開催要項

※公民館（市民センター・コミュニティセンター等を含む。）

- 1 趣 旨
 

近年、少子・高齢化、都市化・過疎化の進行とともに、society5.0時代の到来など、生活様式や価値観の多様化等、社会情勢が急激に変化しています。その結果、地域の担い手不足や人間関係の希薄化などが懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。そのような中で、公民館は事業を通して、多世代とのつながりや地域の連帯意識を高めて地域づくりを進めてきました。

本大会は、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者が一堂に会し、全国有数の取組について事例発表や講話を通して学ぶことで、公民館の機能と果たすべき役割を再認識し、取組への意欲を向上させるとともに、今後の公民館等の活動を一層充実させることをめざします。
- 2 大会テーマ
 

**「地域住民がウェルビーイングを実現できる公民館を目指して！」**  
～人づくり・つながりづくり・地域づくり～
- 3 主 催
 

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 共 催
 

久留米市教育委員会
- 5 後 援
 

福岡県、久留米市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 間
 

令和6年8月7日（水）
- 7 会 場
 

久留米シティプラザ「ザ・グランドホール」  
〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門8-1  
TEL：0942-36-3000



## 8 参 加 者

約 8 0 0 名

公民館等職員、自治（町内）公民館等関係者、市民センター関係者、コミュニティ施設関係者、公民館運営審議会委員、社会教育委員、学校教育関係者、生涯学習・社会教育関係者、社会教育関係団体

## 9 日 程

12：15～

**受付**

12：50～13：20

**開会・記念式典**（30分）

13：25～14：05

**事例発表**（40分）

「ウェルビーイングを高めるために！～KIITO、  
プラス・アーツでの実践から見えてくること～」

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）センター長

永田 宏和 氏

14：05～14：55

**トークセッション**（50分）

「ウェルビーイングの実現に向けて！

～公民館ができること～」

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）センター長

永田 宏和 氏

東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 氏

福岡県公民館連合会専門部長

北九州市生涯学習課係長 菅 恒弘 氏

15：05～15：55

**講話・まとめ**（50分）

「ウェルビーイングの実現に向けて！

～福岡へのエールを込めて～」

東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 氏

16：00

**閉会**



コーミン

福岡県公民館連合会  
マスコットキャラクター

## 福岡県公民館連合会表彰

祝

## 令和6年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役職員）

| 種別    | 番号 | 市町村名 | 氏 名                      | 所属                                                              | 役職名               | 業 績                                                                                                 |
|-------|----|------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公立公民館 | 1  | 福岡市  | にし お まさ よし<br>西 尾 正 義    | 東区<br>か しい ひがし こう ぶん かん<br>香 椎 東 公 民 館                          | かん ちよう<br>館 長     | 【多世代の連携】多世代の連携は音楽を通じて行えると考え、毎年1～2回、〇〇コンサートと銘うち、地域の男女共同参画推進会などと協力しながら開催し、地域発展に貢献した。                  |
|       | 2  |      | なか の あきら<br>中 野 明        | 南区<br>わか ひさ こう ぶん かん<br>若 久 公 民 館                               | かん ちよう<br>館 長     | 【後継者・指導者育成】自治協議会と連携し、若久まつり、校区運動会、校区防災訓練等に積極的に関わり、安全で住みよいまちづくりを目指すとともに中堅、若手の人材発掘および育成に貢献した。          |
|       | 3  |      | お いし しず お<br>尾 石 静 雄     | 西区<br>めいの はま こう ぶん かん<br>姪 浜 公 民 館                              | かん ちよう<br>館 長     | 【多世代の連携】地域の繋がりを生み、文化として次世代に残せるものを生み出そうと結成された姪浜楽舞隊（らぶたい）の踊り手を誘導する「あおり」や伝統文化推進委員会の会長を務める等、地域の連携に貢献した。 |
|       | 4  |      | わた なべ あきら<br>渡 邊 彰       | 西区<br>うち はま こう ぶん かん<br>内 浜 公 民 館                               | かん ちよう<br>館 長     | 【ICTの活用】福岡市内の公民館と共同で、ZOOMを活用したブラこうみんかん事業を実施し、他校区の住民と交流しながら、地域の歴史を学ぶとともに、地域のデジタル化支援の推進に貢献した。         |
|       | 5  |      | み やけ むつ こ<br>三 宅 睦 子     | 城南区<br>なが お こう ぶん かん<br>長 尾 公 民 館                               | しゅ じ<br>主 事       | 【大学や他機関との連携】企業の出前講座や、大学生・小学生が講師を務める Wi-Fi 活用術、e スポーツ体験会などの講座を実施し、校区の生涯学習と地域コミュニティ活動の支援に貢献した。        |
|       | 6  |      | たか ぎし ま さ よ<br>高 岸 真 佐 世 | 城南区<br>かた え こう ぶん かん<br>片 江 公 民 館                               | しゅ じ<br>主 事       | 【多世代の連携】三世代モルック大会、工作教室（箸作り）などの体験講座、2校区合同スポーツ交流会等、地域団体と連携し、世代間交流につながる事業を実施し、多世代の連携に貢献した。             |
|       | 7  |      | しい や ひろ み<br>椎 屋 広 美     | 城南区<br>かな やま こう ぶん かん<br>金 山 公 民 館                              | しゅ じ<br>主 事       | 【多世代の連携】子どもの居場所、カフェたまり場など、地域団体と連携を図りながら校区の実情にあった事業を実施し、多世代の連携に貢献した。                                 |
|       | 8  |      | まつ お か よ こ<br>松 尾 佳 代 子  | 城南区<br>あみ かた え こう ぶん かん<br>南 片 江 公 民 館                          | しゅ じ<br>主 事       | 【青少年教育】ハムスター広場、南片江こどもさろん、そらまめくらぶ（多胎児学級）など、特に若い世代（幼児を含む子ども対象）が参加できるような事業に力を入れ、青少年教育に貢献した。            |
|       | 9  |      | さ の あき こ<br>佐 野 晶 子      | 早良区<br>わき やま こう ぶん かん<br>脇 山 公 民 館                              | しゅ じ<br>主 事       | 【組織づくり・仕組みづくり】校区自治協議会やその他の関係団体と連携し、わさび田再生プロジェクトや交通弱者支援としての買い物バスの運行など、地域の課題解決とコミュニティの活性化に貢献した。       |
|       | 10 | 大刀洗町 | はし もと とも み<br>橋 本 朋 美    | 大刀洗町<br>こう ぶん かん うん えい<br>公 民 館 運 営<br>しん ぎ かい 委 員 長<br>審 議 会 員 | い いん ちよう<br>委 員 長 | 【公民館施設の管理・運営】大刀洗町中央公民館の大規模改修の際、町民目線で改修におけるレイアウトや設備のアドバイスをを行い、公民館施設の利便性の向上に貢献した。                     |



| 種別        | 番号 | 市町村名  | 氏 名                    | 所属                                      | 役職名       | 業 績                                                                                                   |
|-----------|----|-------|------------------------|-----------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公立公民館     | 11 | 柳 川 市 | きた じま のり ゆき<br>北 島 則 行 | 柳 川 市<br>皿 垣 校 区 公 民 館                  | かん 館 長    | 【多世代の連携】 校区運動会や校区公民館レクリエーション大会などの多彩な校区公民館事業や諸活動を通して、地域住民の親睦を深めるとともに地域の生涯学習意識の向上、健康増進に貢献した。            |
| 自治(町内)公民館 | 1  | 北九州市  | はた ま しん いち<br>畑 間 新 一  | 小倉北区<br>到 津 公 民 館                       | かん 館 長    | 【多世代の連携】 初夏の風物詩である鯉のぼりまつり、夏の盆踊りや慰霊祭、どんど焼きや鏡びらきなど、歴史を重んじ伝統文化を継承する事業を通じて、地域における多世代の連携に貢献した。             |
|           | 2  |       | の だ きみ はる<br>野 田 公 治   | 小倉南区<br>田 原 公 民 館                       | かん 館 長    | 【団体育成・サークル活動】 感染症拡大防止を踏まえた活動自粛の最中でも、工夫を凝らして体育事業やヨガ、書道、詩吟などのサークル活動を支援し、その活動に貢献した。                      |
|           | 3  |       | みや ざき けん じ二<br>宮 崎 賢 二 | 小倉南区<br>の 能 行 公 民 館                     | かん 館 長    | 【団体育成・サークル活動】 感染症拡大防止を踏まえた活動自粛の最中でも、工夫を凝らしグラウンドゴルフ大会や体育祭といった体育事業を支援し、その活動に貢献した。                       |
|           | 4  |       | よし だ まさ ひこ<br>吉 田 正 彦  | 若松区<br>小 石 公 民 館                        | かん 館 長    | 【多世代の連携】 三世代グラウンドゴルフやタケノコ掘り親睦会の実施などの活動を通じて、多世代の連携や、公民館が地域の教養、文化、健康増進等の活動拠点となるような地域づくりの推進に貢献した。        |
|           | 5  | 筑紫野市  | みや もと もと み<br>宮 本 元 美  | 筑紫野市<br>岡 田 公 民 館                       | しゅ 主 事    | 【青少年教育】 地域の方々と密接に連携して子どもを育てていくために、公民館まつりなどの自治会行事・夏休み教室・公民館主催講座などを通じて、地域の方々と青少年との世代間交流を継続し、青少年教育に貢献した。 |
|           | 6  | 小 郡 市 | ごん どう ひで ゆき<br>権 藤 英 幸 | 小郡市<br>宝 城 南 公 民 館                      | かん 館 長    | 【多世代の連携】 催し事を中心とした多世代交流の場に若い世代を引き込むとともに、新型コロナの影響で開催を断念してきた地域行事を復活させるなど、永続的なコミュニティの形成に貢献した。            |
|           | 7  | 筑 後 市 | にし まさ のぶ<br>西 真 信      | 筑後市<br>藤 島 公 民 館 (兼)<br>羽 犬 塚 校 区 公 民 館 | かん 館 長    | 【多世代の連携】 藤島行政区の公民館長として、地域交流会等の公民館の行事や健康落語等の講座の実施、藤島行政区の自治公民館長として防災マップづくりを行う等、多世代の連携や安全・安心な地域づくりに貢献した。 |
|           | 8  | 大 川 市 | つの まち とも ゆき<br>角 町 友 幸 | 大川市<br>小 保 団 地 公 民 館                    | かん 館 長    | 【多世代の連携】 町内の「絆づくり」や「和」を第一に考え、そのための取組を組織面や活動面の中で工夫し、子どもから高齢者までの世代間交流や近隣地域との交流を促進する等、明るく住みよいまちづくりに貢献した。 |
|           | 9  |       | ご とう いさむ<br>後 藤 勇      | 大川市<br>下 林 公 民 館                        | かん 館 長    | 【多世代の連携】 子どもからお年寄りまで参加できるイベントを計画し、世代間交流に意欲的に取り組むとともに、子ども育成会と連携して夏休みラジオ体操を実施する等、明るく住みよいまちづくりに貢献した。     |
| 類似施設      | 1  | 朝 倉 市 | とり す ひで しげ<br>鳥 巢 秀 茂  | 朝倉市<br>高 木 地 区<br>コミュニティ協議会             | じ 務 務 局 長 | 【組織づくり・仕組みづくり】 住民同士が気軽に集まり楽しく過ごせるよう高木食堂を開設、令和7年度から本格運行されるコミュニティバス「あいのり高木号」の発足に尽力するなど、地域の課題解決に貢献した。    |
|           | 2  |       | たに ぐち よし はる<br>谷 口 義 治 | 朝倉市<br>上 秋 月 コ ミ ュ ニ テ イ セ ン タ ー        | じ 務 務 局 長 | 【青少年教育】 自作のもち米を使った餅つきやしめ縄づくり等、地域に密着した事業を展開するとともに、秋月小探検クラブにおいて地域の歴史などについて説明し、地域の良さを子ども達に伝え青少年教育に貢献した。  |

## 事例発表

# ウェルビーイングを高めるために！ ～ KIITO、プラス・アーツでの実践から見えてくること～



株式会社iop都市文化創造研究所  
代表取締役  
NPO法人プラス・アーツ 理事長  
デザイン・クリエイティブセンター神戸  
【KIITO】 センター長

なが た ひろ かず  
**永田 宏和** 氏

## プロフィール

企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、竹中工務店入社。2001年、まちづくり、建築、アートの3分野の企画プロデュース会社「iop 都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO 法人プラス・アーツ」を設立後、クリエイティブな新しい防災教育プログラムを多数開発し、国内外に展開。2012年デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長に就任し、「+クリエイティブ」をコンセプトに、神戸市及び企業と協働し様々なジャンルの社会課題解決に取り組む。2021年4月よりセンター長。

主な仕事に、都市キャンペーン型アートイベント「水都大阪・水辺の文化座」、楽しく学ぶ防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！」、子どもが作る子どものための夢のまち「ちびっこうべ」、男性高齢者の社会参画と生きがいづくりをテーマとした「男・本気の料理教室」、などがある。

『第6回21世紀のまちづくり賞・社会活動賞』、『第14回防災まちづくり大賞消防科学センター理事長賞』、『第1回まちづくり法人国土交通大臣賞』、国際交流基金『地球市民賞』、『JICA 理事長賞』受賞。

NHK・Eテレ「東北発☆未来塾」、TBS『情熱大陸』、日本テレビ『世界一受けたい授業』などテレビ番組にも多数出演。



第69回福岡県公民館大会 事例発表

# ウェルビーイングを高めるために！

～KIITO、プラス・アーツでの実践から見えてくること～

2024.2.10

デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長  
NPO法人プラス・アーツ 理事長  
**永田 宏和**

1



デザイン・クリエイティブセンター神戸  
センター長  
株式会社iop 都市文化創造研究代表  
NPO法人プラス・アーツ 理事長  
**永田 宏和** ながた ひろかず  
企画・プロデューサー  
(建築・まちづくり・アートイベント)

1968年兵庫県西宮市生まれ  
91年大阪市立大学建築学科卒業  
93年大阪大学大学院修士課程修了  
同年株式会社竹中工務店入社  
2001年2月株式会社竹中工務店退社  
同年3月『iop都市文化創造研究所』設立  
2006年7月『NPO法人プラス・アーツ』設立  
同年1月『iop都市文化創造研究所』株式会社化  
2012年8月デザイン・クリエイティブセンター神戸  
(通称KIITO) 副センター長に就任  
2021年4月 KIITOセンター長に就任

【受賞歴】  
21世紀まちづくり賞受賞 (2008年度)  
パートナーシップ大賞グランプリ受賞 (2008年度)  
「防災まちづくり大賞」 受賞 (2010年度)  
まちづくり法人国土交通大臣表彰 (2012年度)  
国際交流基金「地球市民賞」 (2014年度)  
JICA理事賞 (2019年度)

2

(まちづくりプロデューサーとしての)

# わたしの

フィロソフィー

(活動理念)

3

# 地域豊穠化における

「風」「水」「土」  
そして、「種」の話

---

## 私の活動理念

4

**“水” の人**  
その土地に寄り添い、種に水を  
やり続ける存在。中間支援的存在。



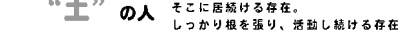
**“風” の人**  
その土地に「種」を運ぶ、  
刺激を与える存在。



**“種”**  
イベント  
活動



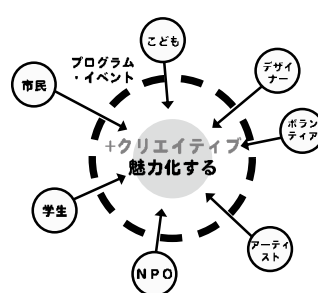
**“土” の人**  
そこに居続ける存在。  
しっかり根を張り、活動し続ける存在。



5

# いい種の二つの条件

- 不完全ブランニング  
・関わり代をつくる  
・余地をつくる
- +クリエイティブ  
・魅力化する  
「夢のような」「楽しい」  
「ワクワクする」など



6





7



8



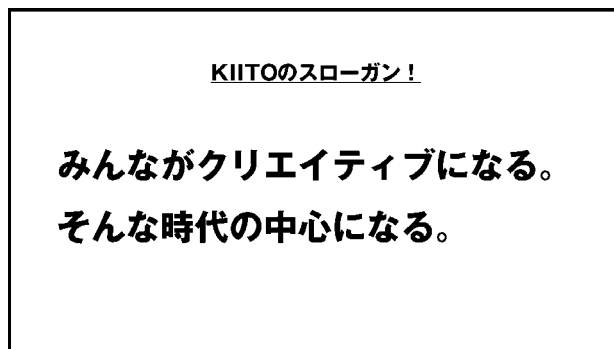
9



10



11



12



### KIITOの明確な方向性

(子どもから高齢者まで)  
みんながクリエイティブになる  
そんな時代の中心になる  
↓  
あらゆる世代を対象とした  
創造教育拠点

13

### KIITO の フィロソフィー (活動理念) 目的：地域豊穡化

14

#### 水：

市役所、区役所、社協  
まちづくり団体、地域団体、  
NPO、大学、企業(社会貢献)

#### 風：KIITO

#### 種：

活動  
プログラム



土：神戸市民(子ども、大人、高齢者)

15

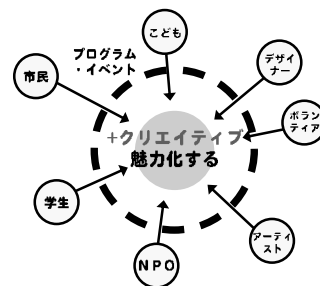
#### いい種の二つの条件

##### ●不完全プランニング

- ・関わり代をつくる
- ・余地をつくる

##### ●+クリエイティブ

- ・魅力化する  
「夢のような」「楽しい」  
「ワクワクする」など



16

### KIITOのコンセプト

#### 「+クリエイティブ」

デザインやアートに加え、既成概念にとらわれないアイデアや工夫を採り入れ、  
身のまわりの社会的課題を解決する手法。

17

つまり、

社会課題 +クリエイティブ

18

具体的には、

まちづくり、教育、  
観光、防災、環境、  
高齢者問題、  
都市施設(道路・公園)  
福祉(医療・障がい者)

＋クリエイティブ

19

KIITOから

様々な種(神戸モデル)が生まれ  
広まっている。

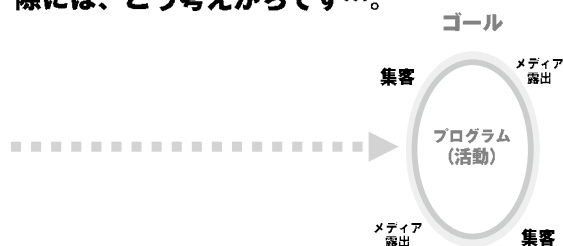
20

さらに、もう一つ…

KIITOが大切にしている  
種づくりのセオリーを  
皆さんにお伝えします！

21

一般的に活動(プログラム)を作る  
際には、こう考えがちです…。



22

ゴールではなく、プロセスが重要。  
いい活動(プログラム)には、前も後ろもある。

プログラム例)  
●ちびっこうべ、●パンじい

プロセス  
(トライアルの場)



23

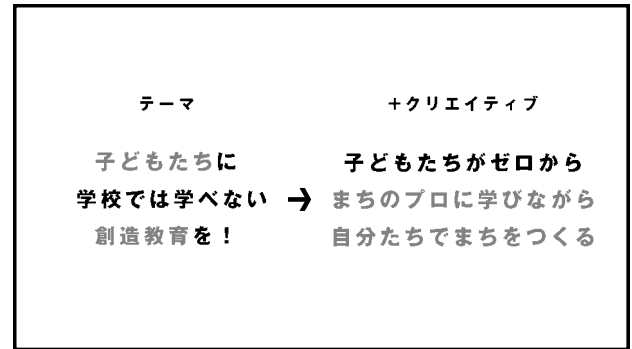


24





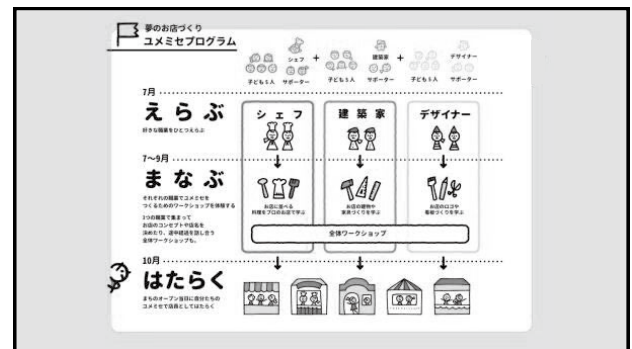
25



26



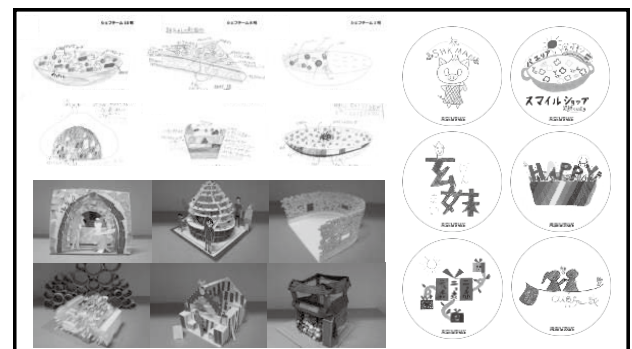
27



28



29



30



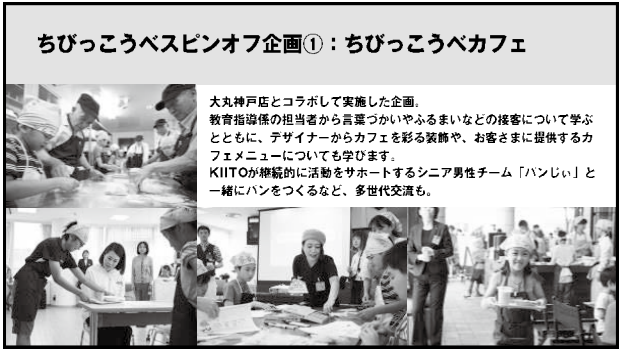
31



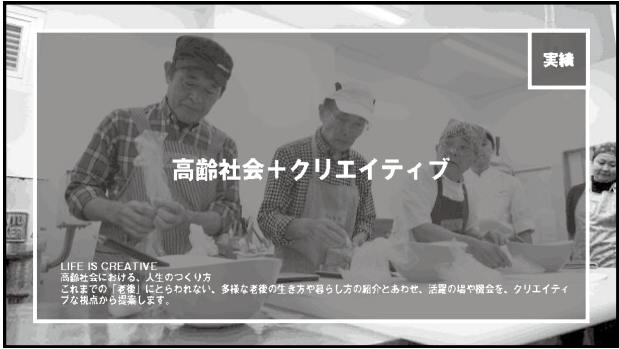
32



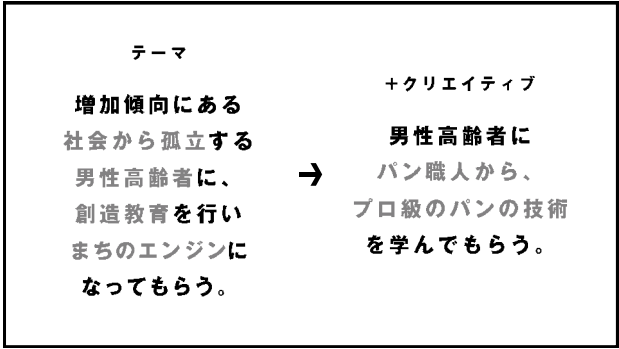
33



34



35



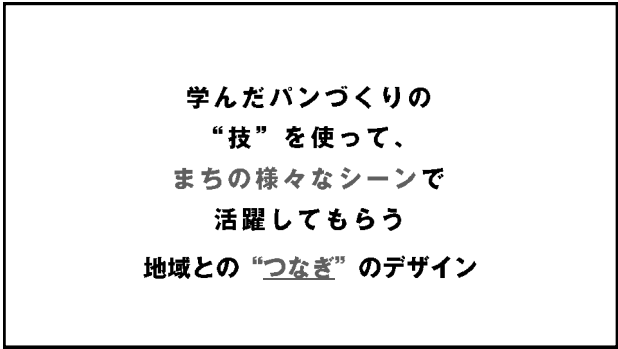
36



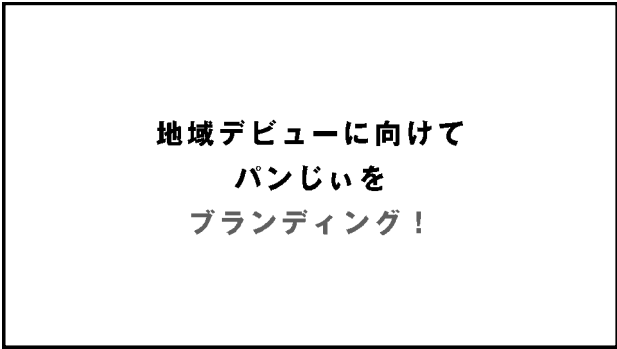
37



38



39



40



41



42





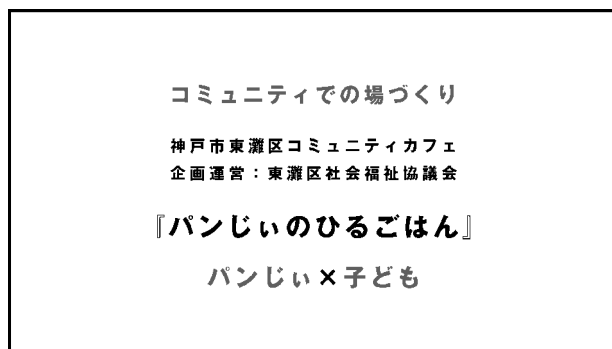
43



44



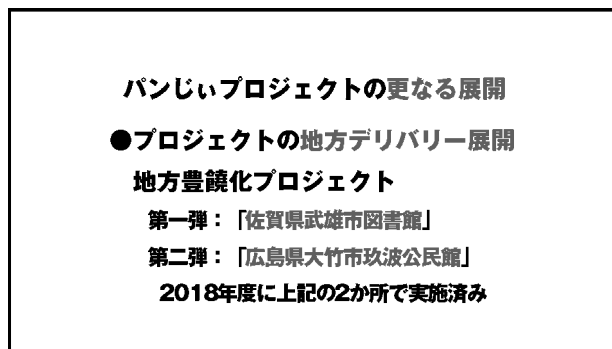
45



46



47



48



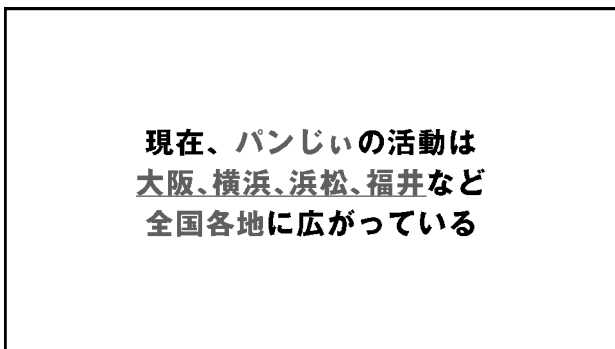
男・本気パン教室 in 武雄市図書館

49



男・本気のパン教室 in 玖波公民館 (広島県大竹市)

50



現在、パンじいの活動は  
大阪、横浜、浜松、福井など  
全国各地に広がっている

51



パンじいプロジェクト@大阪府東大阪市

52



パンじいプロジェクト@大阪府堺市

53



パンじいプロジェクト@横浜市

54



55



56



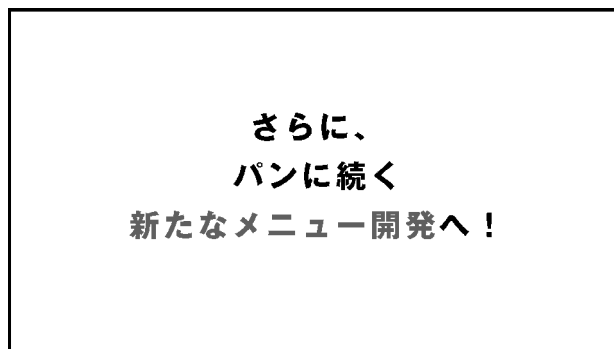
57



58



59

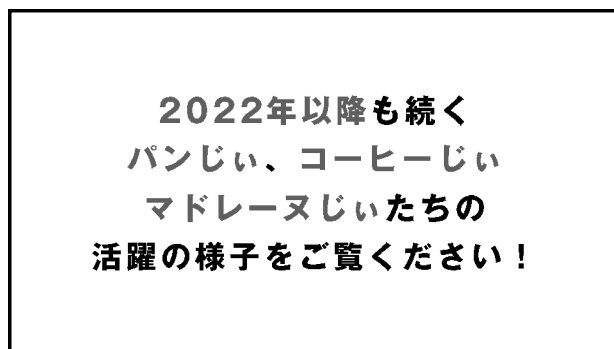


60





61



62



63



64



65



66



67



68



69



70



71



72



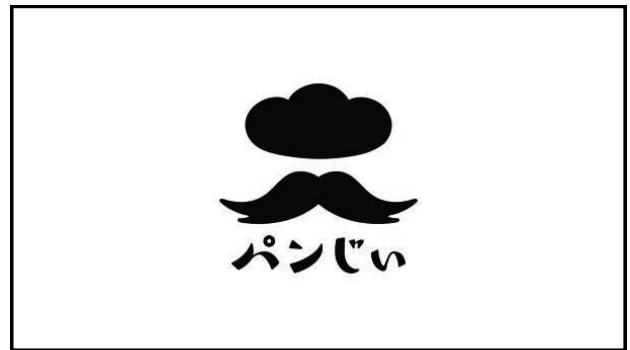
73



74



75



76



77



78





79



80



81



82



83



84



85



86



87



88



89



90



91



92



93



94



95



96





97



98



99



100



101



102



103



104



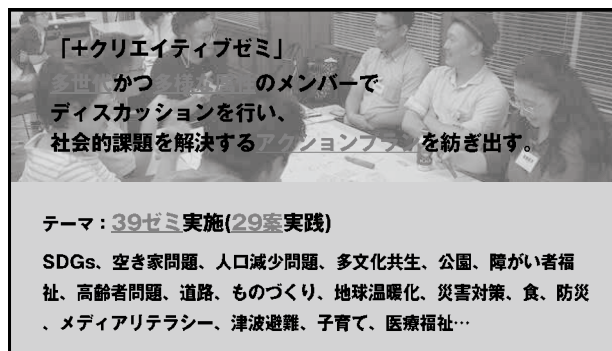
105



106



107



108





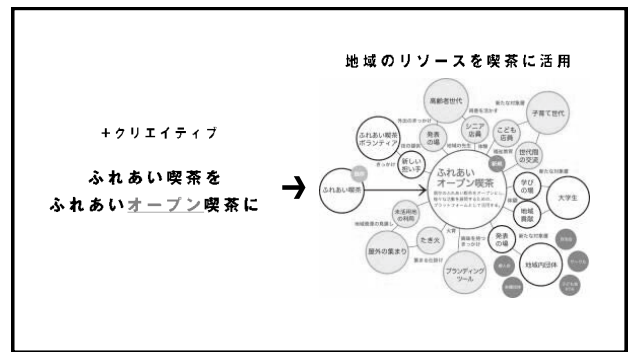
109



110



111



112



113



114





115

2023年5月、  
神戸市西区学園東町で  
部員約30名のピザ部が発足。  
同年11月には、  
地域内でピザイベントを開催。  
月1回の勉強会を実施中。  
部員の8割は地域活動未経験者

116



117



118



119



120



121



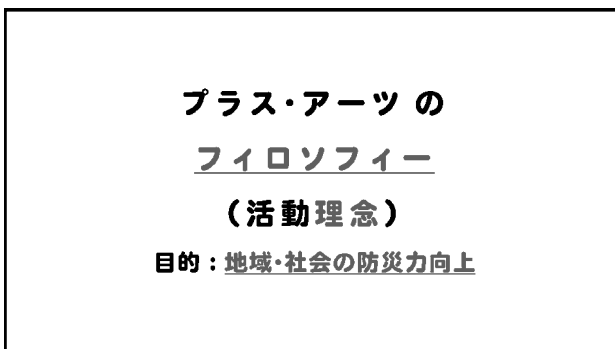
122



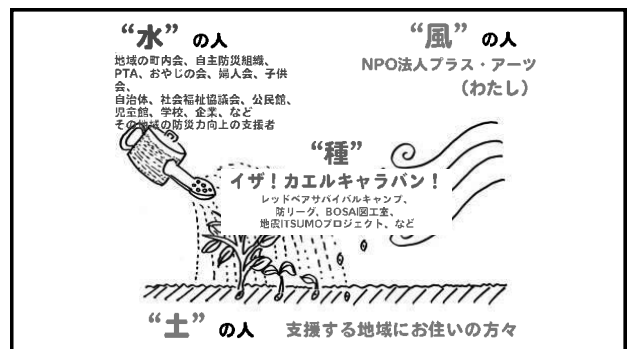
123



124



125



126

## プラス・アーツの フィロソフィー (活動理念)

目的：地域・社会の防災力向上

### “水”の人

地域の町内会、自主防災組織、  
PTA、おやじの会、婦人会、子供  
会、  
自治体、社会福祉協議会、公民館、  
児童館、学校、企業、など  
その地域の防災力向上の支援者

### “風”の人

NPO法人プラス・アーツ  
(わたし)

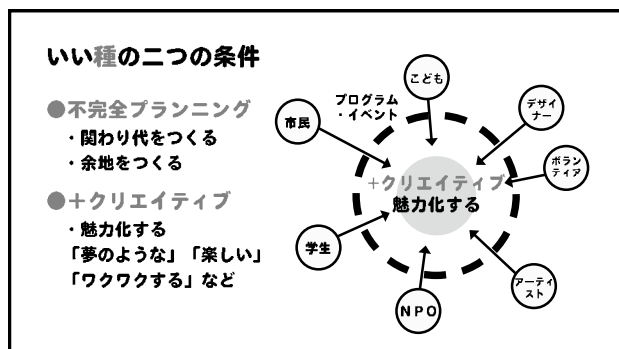
### “種”

イザ！カエルキャラバン！

レッドベアサバイバルキャンプ、  
第1リーグ、BOSA園工室、  
地産(TSUMO)プロジェクト、など

### “土”の人

支援する地域にお住まいの方々



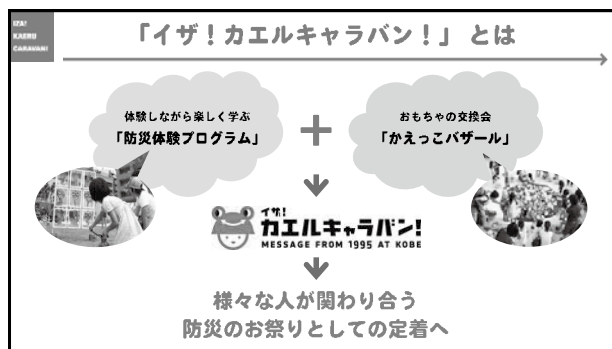
127



128

**【課題】**  
兵庫県と神戸市から、  
震災10周年記念事業で  
次世代を担う多くの子どもたちに  
防災の教訓、知識と技を伝える  
防災訓練を企画して欲しい  
と頼まれた。

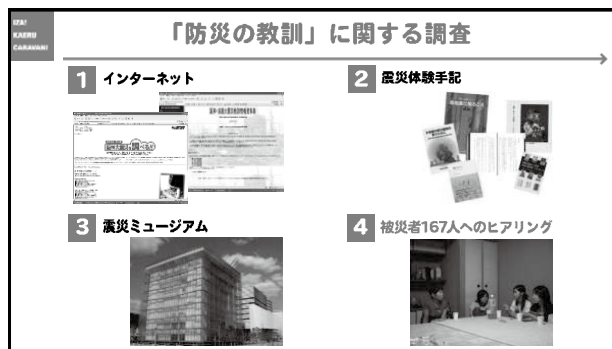
129



130

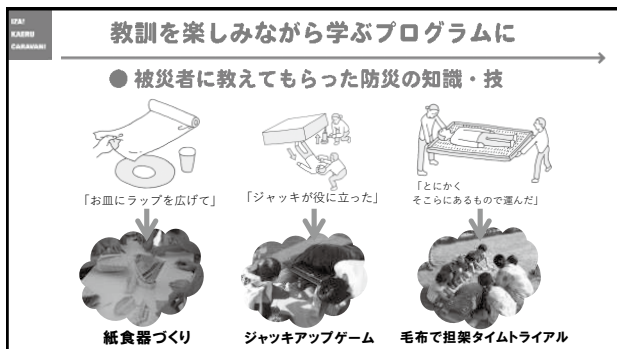


131



132





133



134



135



136



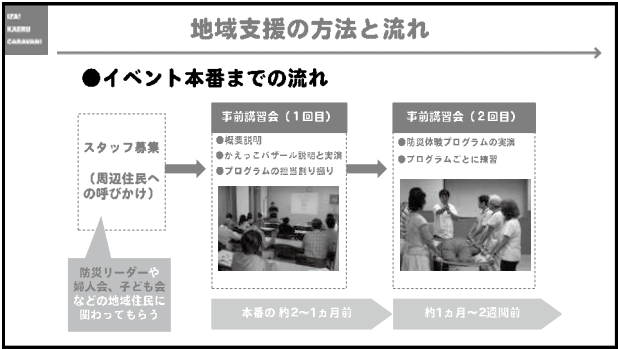
137



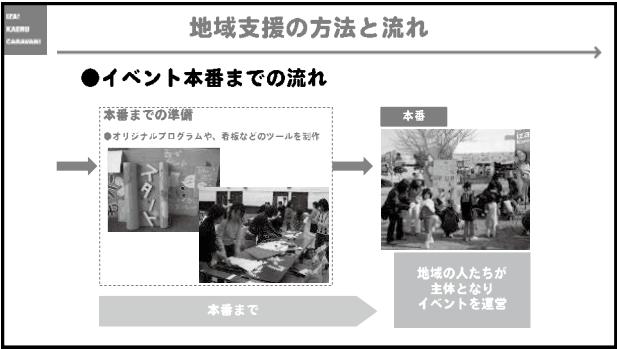
138



139



140



141



142



143



144



145



146



147



148



149



150

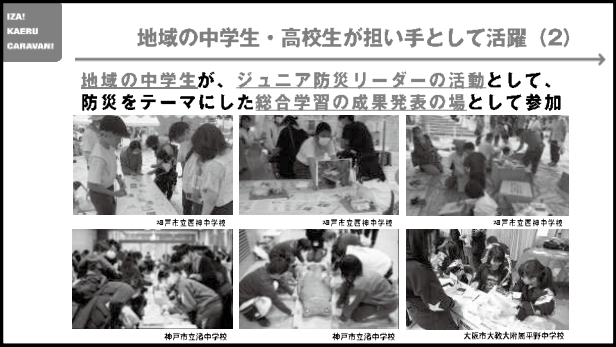




151



152



153



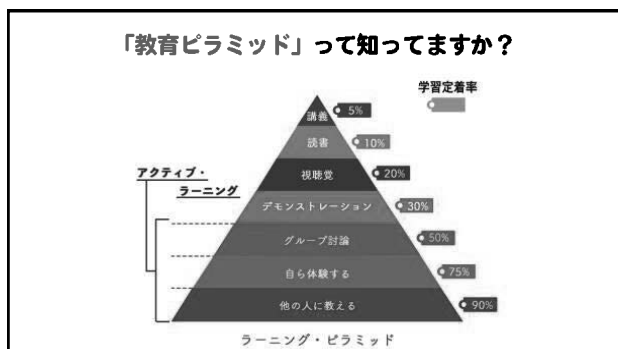
154



155



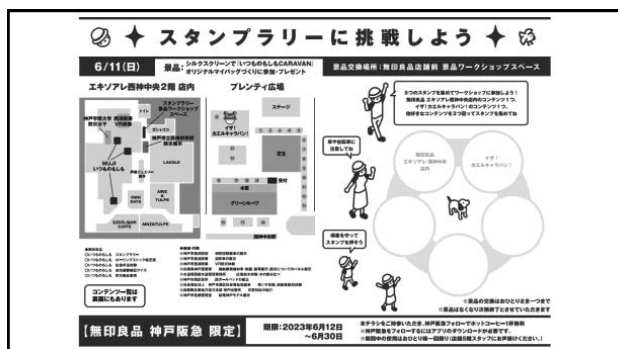
156



157



158



159



160



161



162



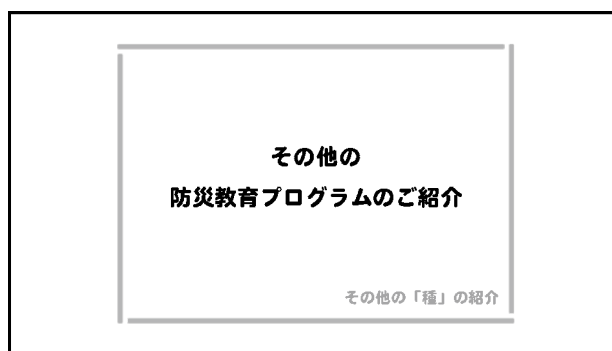
163



164



165



166



167



168





169



170



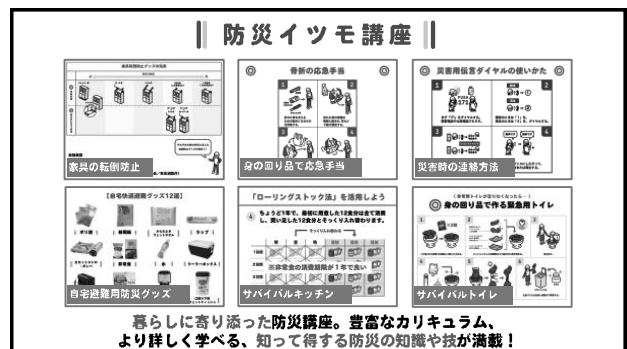
171



172



173



174



175



176



◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



## トークセッション

# ウェルビーイングの実現に向けて!

～公民館ができること～

### 《コーディネーター》

福岡県公民館連合会専門部長  
北九州市生涯学習課係長

すが  
菅

つねひろ  
恒弘 氏

### プロフィール

2000年に北九州市役所に入職。区役所や財政・企画・産業振興部門などを経て、2022年4月より現職。生涯学習に関する計画策定、事業・予算の取りまとめや制度設計、社会教育主事や市民センター館長等の生涯学習に関わる人材育成に取り組む。また、研修制度を利用した学び直しをきっかけに、2014年にNPOを設立し、NPO支援等に取り組む。市職員の勉強会の開催や異業種の社会人が集い・学び合う場づくりにも取り組む。社会教育士。



### 登壇者

東京大学大学院教育学研究科 教授

まきの  
牧野

あつし  
篤 氏

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)センター長

ながた  
永田

ひろかず  
宏和 氏

メモ



◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

## 講演

# ウェルビーイングの実現に向けて！

～福岡へのエールを込めて～



東京大学大学院教育学研究科  
教授

まきの  
**牧野**  
あつし  
**篤** 氏

### プロフィール

愛知県生まれ。名古屋大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。名古屋大学助教授・教授を経て、2008年より現職。2013年—20年、東京大学高齢社会総合研究機構副機構長併任。

中央教育審議会生涯学習分科会委員・副分科会長。中央教育審議会第4期教育振興基本計画部会委員。中央教育審議会生涯学習分科会社会教育人材部会部会長。

農林水産省農村 RMO 推進研究会アドバイザー。

一般財団法人人生100年社会デザイン財団代表理事。

専門の研究領域は、社会教育学・生涯学習論で、人が生活の営みを続け、成長していくことに現れるさまざまな事象を通して、社会のあり方を考え、人が幸せに暮らすために何ができるのかを考えること、とくにコミュニティの自律と住民の学習とのかかわりに関心がある。

### 主な著書

『公民館はどう語られてきたのか—小さな社会をたくさんつくる・1』（2018年）、『公民館をどう実践してゆくの—小さな社会をたくさんつくる・2』（2019年）、『公民館を再発明する—小さな社会をたくさんつくる・3』（2024年）（いずれも東京大学出版会）など



## 1. 何が問われているのか

Well-being (ウェル・ビーイング) :

よりよく生きる? (positive)

よりよくいる? (存在)

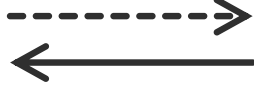
よく在る? (状態)

そう在るようにして在る (常態)

そう在るようにして在らしめられる (passive)

そう在るように受け入れあう

「ふるさと」をどうつくるのか



2024年6月25日

中央教育審議会 総会  
生涯学習分科会 審議の整理  
社会教育人材部会 最終まとめ

文部科学大臣より「社会教育の在り方」諮問  
「地域コミュニティの基盤を支える今後の社会教育の在り方と推進方策について」

Compassion

Compassionate Community

共感

基本はPassion=悲しみ・苦しみ

Com=分かちあう

Compassionとは悲しみを分かちあうこと  
相手の身になること

「恩送り」 : 自分への見返りを考えずに、相手にとって「よきこと」をする  
⇨ 基本的に、次の世代を育むこと=社会をつなげること

私たちが社会をつくっていることの基盤

Compassion

⇨ Compassionate Community (苦しみ・悲しみを分かちあう社会)

相手への想像力、「よきこと」に気づく、実践する



## 2. 社会教育の概念を問う

社会教育という概念：

学校教育との対比によって規定されてきた

社会教育は、歴史的に学校教育との対比において、学校教育の「補足」「拡張」「代位」「以外」、さらに「移行」などと発達形態が規定され、また現行の社会教育法第2条には「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう」と規定されている。



個人の要望と社会の要請が前面化して、社会において行われる教育とされる

個人のウェルビーイング：  
個人が幸せを実感できるような、獲得的なウェルビーイング

社会・環境のウェルビーイング：  
個人がウェルビーイングを追い求めることができる条件としての協調的ウェルビーイング

協調的ウェルビーイングがあつて、獲得的ウェルビーイングが可能となり、獲得的ウェルビーイングが開くことで、協調的ウェルビーイングが豊かに形成される

個人と社会が相補的に支えあふ関係が必要  
ウェルビーイングとコンパッション（Compassion）は切り離せない

第4期教育振興基本計画（2023年6月閣議決定）

基本コンセプト：  
「持続可能な社会の創り手の育成」  
「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」

「我が国の将来を展望したとき、教育こそが社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであり、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展に向けて極めて重要な役割を有している。」

社会教育は、本計画において、改めて地域コミュニティを基盤とする社会の土台である人と人との「かかわり」や「つながり」の土壌を耕しておくという役割が強調され、それが社会の持続可能性およびウェルビーイングと結びつけられている

社会教育が土壌を耕すことで、この社会が豊かな基盤をつくることになり、それが防災や福祉、産業振興、文化交流など、いわば首長部局の一般行政が有効に機能することにもつながることが指摘

少し踏み込んだいい方をすれば、一般行政の社会教育化とでも呼ぶべき方向性が示されている

「学び」による住民自治を社会により深く実装することが求められる時代となったとの認識

### 3. 地域をつくる公民館・社会教育



小和田武紀『公民館図説』（1954年）より：文部科学省提供資料

### 4. 人は何が大切なのか

過疎地三つの空洞化（小田切徳美：明治大学農学部）

人の空洞化  
土地の空洞化  
集落機能の空洞化

⇒ 誇りの空洞化 ⇒ 集落の解体・自治の解体  
⇒ 無住化

社会教育に「目的」はない

社会教育がしっかりしていると、「目的」が生まれる

一般行政は、社会教育の基盤の上で、有効に機能する

敢えていえば、

社会教育は「社会」を永續させるための営み





## 5. 〈社会〉（「ふるさと」とは「ひと」

〈社会〉を取り上げる場合  
意外と見落とされがちなのが  
「ひと」

〈社会〉とは「ひと」

「ひと」とは？

人はともに寄り添うことで  
コミュニティを保ち続けることができる  
コミュニティはCompassionの「関係」  
Compassionの関係がブランドをともに讀えあう関係になる  
相手を慮り、尊重する関係  
⇒ウェルビーイングにつながる

コミュニティと「学び」が焦点に  
⇒日本社会は明治以降、国の枠組みが動揺すると  
コミュニティが政策的ターゲットになる

総務省：地域運営組織・地域生活総合支援サービス  
厚生労働省：地域包括ケアシステム・地域共生社会づくり・孤独孤立防止  
国土交通省：国土強靱化・防災訓練・孤独孤立防止  
まち・ひと・しごと創生会議：小さな拠点  
経済産業省：未来の教室、半徑50センチ革命、STEAMライブラリー  
農林水産省：農村地域づくり事業体  
文部科学省：コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、GIGAスクール

全国社会福祉協議会：福祉教育から社会教育へ  
政府：人生100年時代構想会議  
主要テーマ：学び直し・リカレント教育

社会教育は社会の地下水脈  
社会教育再分岐論  
社会教育が「公民」＝「社会我」を育てる  
「社会我」＝社会の中に自分を見出し、自己の中に社会を感受する  
学校や家庭はその一端を担うことができるのみ  
社会教育は、人間関係を耕しておく営み

## 6. 誰もが社会の当事者になるということ

「学び」と「人づくり」をつなぐに

：島根県益田市「人が育つまち」「人が輝くまち」

益田版カタリ場の種類

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>小学校カタリ場<br/>小学生</p>  <p>「読書会」を実施し、読書好きの小学生を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 読書会の実施は、読書好きの小学生を育てる。</li> <li>● 小学生の読書会を実施し、読書好きの小学生を育てる。</li> <li>● 小学生の読書会を実施し、読書好きの小学生を育てる。</li> <li>● 小学生の読書会を実施し、読書好きの小学生を育てる。</li> </ul> | <p>中学校カタリ場<br/>中学生</p>  <p>「読書」の習慣から、「読書」の習慣へ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校の読書会を実施し、読書好きの中学生を育てる。</li> <li>● 中学校の読書会を実施し、読書好きの中学生を育てる。</li> <li>● 中学校の読書会を実施し、読書好きの中学生を育てる。</li> <li>● 中学校の読書会を実施し、読書好きの中学生を育てる。</li> </ul> | <p>高校カタリ場<br/>高校生</p>  <p>「読書」の習慣から、「読書」の習慣へ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校生の読書会を実施し、読書好きの高校生を育てる。</li> <li>● 高校生の読書会を実施し、読書好きの高校生を育てる。</li> <li>● 高校生の読書会を実施し、読書好きの高校生を育てる。</li> <li>● 高校生の読書会を実施し、読書好きの高校生を育てる。</li> </ul> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※/回

## 7. 地域コミュニティの交差点をつくる

都市部の空き家を開放する

「住み開き」：

自分の空間をちよっと開いて、公共空間にする

(財)世田谷トラストまちづくり：  
「地域共生のいえ」

岡さんのいえTOMO



公民館を拠点とした、中学生地域活動チーム



【北仙道地区】  
陽光会



【豊川地区】  
とよかわっしょい



【匹見3地区】  
匹中会

定期的な居場所をつくる / 開いてるデーカーカフェ & 駄菓子屋

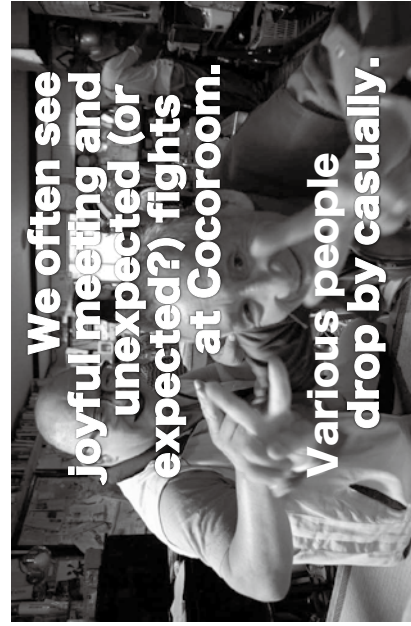


## 8. 価値多元化と共生のコミュニティへ

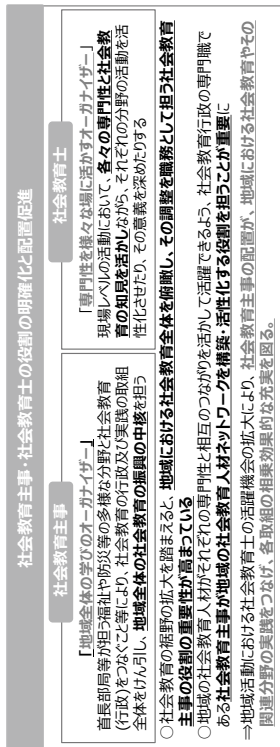
—誰にでも価値がある社会へ：アートを重ねる—  
新しい発想で：アートを重ねる（沖縄県那覇市若狭公民館）



社会から取り残された人々がいきいきできる場所  
：ココルームの取り組み



## 9. 社会教育主事(社会教育士)の位置づけを考える



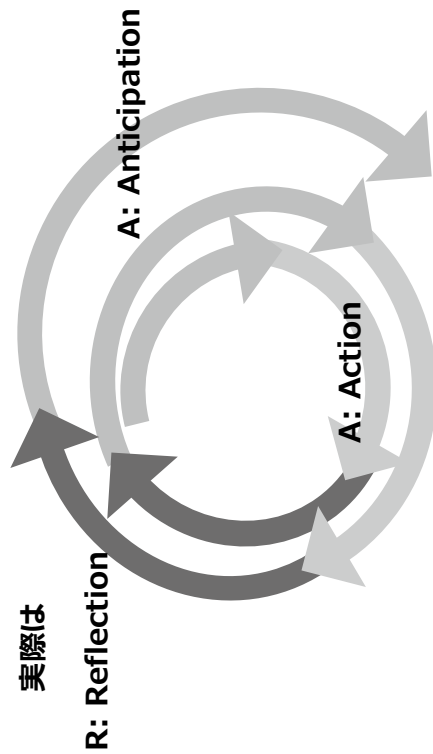
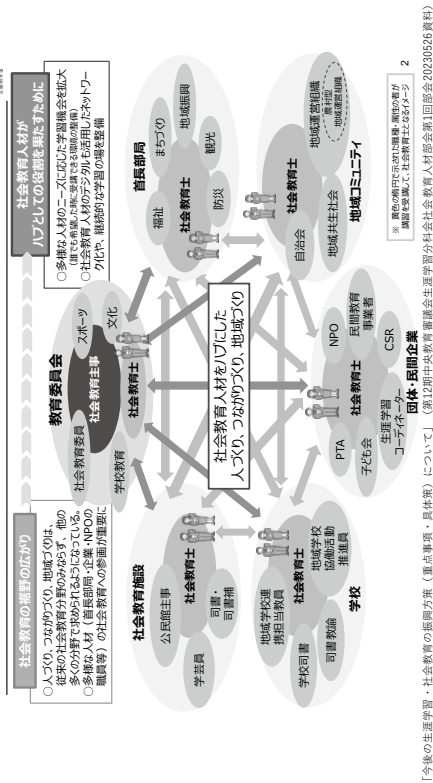
社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方について (中間的まとめ) 【概要】  
(令和5年8月 中央教育審議会 生涯学習分科会 社会教育人材部会)

## 10. PDCAからAARへ



参考: OECD Education 2030

## 社会教育の裾野の広がり、社会教育人材が果たすべき役割





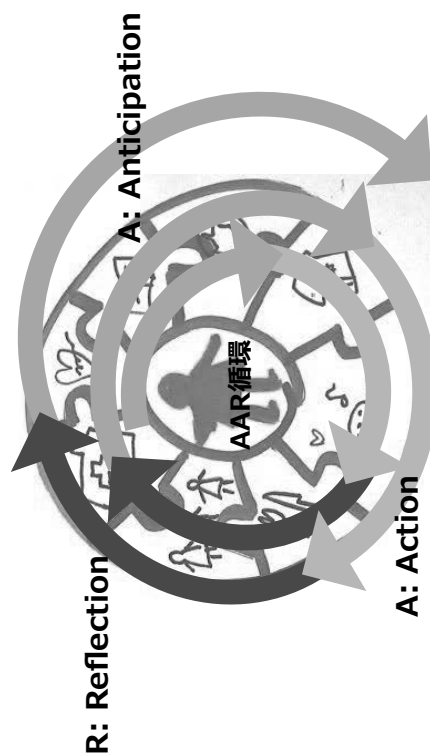
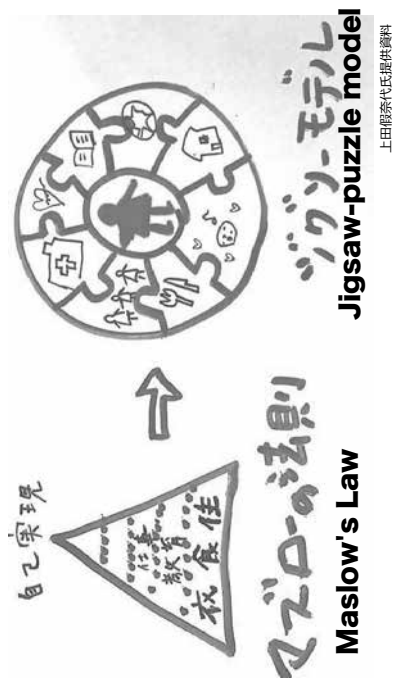
## 11. FOR ALLの上にBY ALL

「学び」＝「よきこと」に気づき、実践する  
 ⇨社会に「共通善」を実践する営み

「学び」を「公共財」として実装する事業

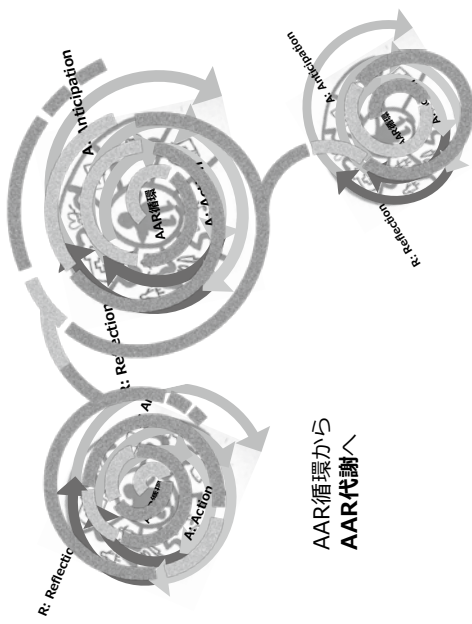
全員が当事者になる  
 自分を尊重してもらえる  
 相手を尊重している  
 個人のウェルビーイング  
 と  
 社会のウェルビーイング  
 が相補的に支えあう  
 信頼感と想像力

## 12. 「はまる」と、「育つ」



## 14. Be-ingであることでDo-erになる

Be-ing であることで Do-er になる  
社会のウェルビーイングが実現することで  
個人のウェルビーイングが促され  
さらに社会がウェルビーイングな状態になる



人生100年時代を生きぬく  
「学び続ける実践」を



◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



◆◆◆ ヌ ㇾ ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



## 福岡県公民館大会年表

| 大会   | 月日                      | 開催地                | 大会主題                                                               | 全体討議テーマ                                     |
|------|-------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 第1回  | 昭和28年<br>1月             | 県社会教育会館            |                                                                    |                                             |
| 第2回  | 昭和29年<br>4月             | 八幡市                |                                                                    |                                             |
| 第3回  | 昭和29年<br>11月19日<br>～20日 | 筑紫郡二日市町<br>中央公民館   | 社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す | 公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来                  |
| 第4回  | 昭和30年<br>11月21日<br>～22日 | 大牟田市<br>中央公民館      | 戦後10年間の公民館活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す  | 赤字財政下の公民館をいかに振興するか                          |
| 第5回  | 昭和31年<br>10月25日         | 飯塚市中央公民館           | 公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す        | 公民館の現状はこのままでよいのか                            |
| 第6回  | 昭和32年<br>10月19日         | 豊前市八屋中学校           | 地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる                 | 新生活運動の反省と今後の推進方策について                        |
| 第7回  | 昭和34年<br>11月21日<br>～22日 | 福岡市中央公民館           | 社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究                | 公民館10年の歩みとこれからの公民館                          |
| 第8回  | 昭和35年<br>10月3日<br>～4日   | 大川市市民会館            | 公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に則して、当面する問題の研究      | 地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいのか |
| 第9回  | 昭和36年<br>6月3日<br>～4日    | 直方市公会堂             | 地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて            | 地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいのか               |
| 第10回 | 昭和37年<br>5月13日<br>～14日  | 行橋市行橋小学校           | 楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいのか                                | 青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいのか           |
| 第11回 | 昭和38年<br>5月25日<br>～26日  | 北九州市戸畑区<br>文化ホール   | 住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくろう                                              | 新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか    |
| 第12回 | 昭和39年<br>5月31日<br>～6月1日 | 福岡市市民会館            | ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいのか                           | 公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー                    |
| 第13回 | 昭和40年<br>5月23日<br>～24日  | 筑後市市民会館            | 変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割                                  | 地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か              |
| 第14回 | 昭和41年<br>5月24日<br>～25日  | 田川市体育館             | 住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう                                       | 住民の創造的生活の確立のために（分科会テーマ）                     |
| 第15回 | 昭和42年<br>5月14日<br>～15日  | 豊前市市民会館            | 今日の生活をみつめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方                    | 地方自治と住民の学習（記念講演）                            |
| 第16回 | 昭和43年<br>5月28日<br>～29日  | 北九州市<br>八幡市民会館     | 公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて                                               | 社会生活の都市化と公民館の課題（記念講演）                       |
| 第17回 | 昭和44年<br>5月31日<br>～6月1日 | 太宰府町九州学園<br>福岡女子短大 | 急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割          | これからの新しい公民館のあり方と役割（記念講演）                    |
| 第18回 | 昭和45年<br>5月26日<br>～27日  | 久留米市市民会館           | 未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう                                           | 公民館の理想と現実                                   |
| 第19回 | 昭和46年<br>5月25日<br>～26日  | 飯塚市<br>文化センター      | 住民の学習に応えられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめる             | 岐路にたつ70年代の選択（記念講演）<br>公民館の理想と現実             |



| 大会   | 月日                   | 開催地               | 大会主題                                                                 |                           | 全体討議テーマ                             |
|------|----------------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|
| 第20回 | 昭和47年<br>7月6日<br>～7日 | 行橋市市民会館           | 住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会（コミュニティ）形成のための公民館活動のあり方を考える |                           | 明日を創る公民館の新思路（記念講演）                  |
| 第21回 | 昭和48年<br>5月30日       | 福岡市立少年文化会館ホール     | 生活に根ざす公民館活動の創造と前進                                                    |                           | 生活に根ざす住民の教育要求にこたえるための公民館の役割（シンポジウム） |
| 第22回 | 昭和49年<br>6月6日        | 八女市町村会館           | 魅力ある公民館の創造と前進                                                        | 実践発表<br>対面討議<br>全体討議      | 住民にとって公民館とは何か                       |
| 第23回 | 昭和50年<br>6月1日        | 直方市民会館            | 豊かな地域づくりをめざす公民館の役割                                                   | シンポジウム<br>講演              | コミュニティの形成と公民館<br>これからの公民館経営         |
| 第24回 | 昭和51年<br>6月3日        | 豊前市民会館            | 住民の生活を高めるための公民館事業のあり方を考える                                            | パネル討議<br>講演               | 住民の求めに応ずる公民館事業<br>住民の生活を高めるための公民館事業 |
| 第25回 | 昭和52年<br>9月22日       | 北九州市小倉南市民センター     | 住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える                                            | 分科会(9)<br>講演              | これからの社会教育                           |
| 第26回 | 昭和53年<br>7月5日        | 太宰府勤労者体育センター      | 地域の住民の学習要求に応えるための具体的な公民館のあり方を考える                                     | 分科会(8)<br>講演              | 地域と社会教育                             |
| 第27回 | 昭和54年<br>7月3日        | 大川市文化センター         | 多様化する地域住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える                                     | 分科会(8)<br>講演              | 地域が育てる児童文化                          |
| 第28回 | 昭和55年<br>6月12日       | 中間体育文化センター        | 地域住民の実際生活に即した公民館のあり方について                                             | パネル討議<br>講演               | 地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について            |
| 第29回 | 昭和56年<br>6月3日        | 行橋市民会館            | 公民館が果たすべき今日的意義と役割を考える                                                | 講演<br>シンポジウム(3)           | 青少年をとりまく諸問題に対処する社会教育                |
| 第30回 | 昭和57年<br>6月9日        | 北九州市小倉市民会館        | 住民が主体となる公民館の在り方を考える                                                  | 講演<br>分科会(8)              | 住民が主体となる公民館の在り方を考える                 |
| 第31回 | 昭和58年<br>8月9日        | 福岡県立福岡勤労青少年文化センター | 「住民の実際生活に即した公民館の役割と機能を考える」－今、公民館は地域住民とともに何をしなければならないか－               | 講演<br>分科会(9)              | 「現代の青少年問題を考える」－思いやりのある社会づくりのために－    |
| 第32回 | 昭和59年<br>6月22日       | 甘木文化会館            | 生涯教育の視点に立った公民館経営の在り方を考える                                             | 講演<br>パネル討議(3)<br>分科会(2)  | ニューメディア時代を考える                       |
| 第33回 | 昭和60年<br>6月13日       | 飯塚文化センター          | 生涯教育推進の拠点になる公民館のあり方を考える                                              | 講演<br>分科会(8)              | 生涯教育の推進と公民館の役割                      |
| 第34回 | 昭和61年<br>5月30日       | 豊前市体育館            | 生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える                                               | 講演<br>分科会(7)              | 生涯学習と放送                             |
| 第35回 | 昭和62年<br>8月6日        | 北九州市立小倉市民会館       | 生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える                                               | 講演<br>分科会(7)              | 「豊かな心を育てる地域社会の役割」                   |
| 第36回 | 昭和63年<br>7月27日       | 福岡県立福岡勤労青少年文化センター | 生涯学習社会の形成をめざす公民館のあり方を考える                                             | 講演<br>分科会(7)              | 「生涯学習社会における公民館の役割」                  |
| 第37回 | 平成2年<br>11月21日       | 筑紫野市文化会館          | 生涯学習社会をめざす公民館のあり方を考える                                                | 講演<br>シンポジウム(1)<br>分科会(4) | 「生涯学習社会における公民館の役割」                  |
| 第38回 | 平成3年<br>7月31日        | 直方市民会館            | 生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方                                                 | 講演<br>分科会(5)              | 地域に根ざした公民館活性化への提言                   |

| 大会   | 月日             | 開催地                | 大会主題                                               |                    | 全体討議テーマ                                                 |
|------|----------------|--------------------|----------------------------------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------|
| 第39回 | 平成4年<br>7月30日  | 久留米市<br>石橋文化センター   | 生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方                               | 講演<br>分科会(5)       | 学校週5日制…公民館はどうする!!                                       |
| 第40回 | 平成5年<br>9月17日  | 大牟田市<br>大牟田文化会館    | 生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方                               | 講演<br>分科会(5)       | ボランティアの心                                                |
| 第41回 | 平成6年<br>7月29日  | 田川市<br>田川文化センター    | 住民とともに生涯学習社会を目指す<br>公民館の学習・交流活動のあり方                | 講演<br>分科会(5)       | 生涯学習における公民館の役割                                          |
| 第42回 | 平成7年<br>8月3日   | 行橋市民会館             | 住民とともに生涯学習社会を目指す<br>公民館の学習・交流活動のあり方                | 講演<br>分科会(5)       | 公民館を元気に未来的にしよう!!<br>- “愛されるため”の魅力をアップ…インテリジェント化 -       |
| 第43回 | 平成8年<br>8月7日   | 北九州市立<br>小倉市民会館    | 住民とともに生涯学習社会を目指す<br>公民館の学習・交流活動のあり方                | 講演<br>分科会(5)       | 生涯学習における公民館<br>- 粋な生き方と学業国づくり -                         |
| 第44回 | 平成10年<br>8月20日 | 志免町立<br>町民センター     | 生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える                           | 講演<br>分科会(5)       | 公民館のこれから<br>- 社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために -                  |
| 第45回 | 平成11年<br>7月30日 | 中間市<br>なかまハーモニーホール | 生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える                           | 講演<br>分科会(5)       | 子どもと地域の教育力                                              |
| 第46回 | 平成12年<br>7月28日 | 久留米市<br>石橋文化ホール    | 新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える                           | 講演<br>分科会(5)       | 新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～                            |
| 第47回 | 平成13年<br>7月27日 | 筑後市<br>サザンクス筑後     | 21世紀の到来、地域とともに歩む<br>公民館活動の新たな戦略                    | 講演<br>分科会(5)       | 家庭教育を支援する公民館活動のあり方                                      |
| 第48回 | 平成14年<br>8月2日  | 飯塚市文化会館            | 完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える                         | 講演<br>分科会(5)       | 社会教育の番番は、“今”<br>～完全学校週5日制に対応した<br>公民館活動のあり方～            |
| 第49回 | 平成15年<br>7月23日 | 荏田町立<br>中央公民館      | 地域拠点としての公民館の新たな役割を探る                               | 講演<br>分科会(3)       | メディアから見た地域拠点としての公民館の役割                                  |
| 第50回 | 平成16年<br>8月31日 | 北九州市<br>北九州芸術劇場    | 「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～         | 講演<br>分科会(3)       | 「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～                                 |
| 第51回 | 平成18年<br>8月3日  | 宗像市<br>宗像ユリックス     | 少子高齢社会に対応した公民館の在り方                                 | 講演<br>シンポジウム       | 地域へのメッセージ・会社の人から社会の人へ少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る              |
| 第52回 | 平成19年<br>8月8日  | 直方市<br>ユメニティのおがた   | 「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」～子供の生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動～ | 講演<br>シンポジウム       | 家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を公民館の家庭教育支援・今、何ができるか                |
| 第53回 | 平成20年<br>8月1日  | 朝倉市<br>サンライズ杷木     | 「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」                           | 講演<br>シンポジウム       | 「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～<br>「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」 |
| 第54回 | 平成21年<br>8月1日  | 柳川市<br>柳川市民会館      | 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」                               | 講演<br>シンポジウム       | 「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」<br>「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」      |
| 第55回 | 平成22年<br>8月4日  | 田川市<br>田川文化センター    | 「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」                             | 講演<br>シンポジウム       | 「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」<br>「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」       |
| 第56回 | 平成23年<br>8月4日  | 行橋市<br>行橋市民体育館     | 「新しい公共」とこれからの公民館                                   | 講演<br>シンポジウム       | 「『新しい公共』とこれからの公民館」<br>「これからの公民館運営と役割」                   |
| 第57回 | 平成24年<br>8月2日  | 北九州市<br>八幡市民会館     | 「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて                           | 講演<br>インタビュー・ダイアログ | 「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」<br>「元気の出るまちづくり」         |



| 大会   | 月日                           | 開催地                          | 大会主題                                                               |                        | 全体討議テーマ                                                           |
|------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 第58回 | 平成25年<br>8月29日<br>～30日       | 福岡国際会議場<br>福岡サンパレス<br>福岡市民会館 | 「活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして」～自立・協働・創造の実現は公民館から～                         | 分科会(7)<br>記念講演         | ※第64回九州地区公民館研究大会（福岡大会を兼ねる）                                        |
| 第59回 | 平成26年<br>7月31日               | 春日市<br>クローバープラザ              | 「地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方」                                         | 講演<br>インタビュー・<br>ダイアログ | 「地域の活性化に向けた公民館の役割」                                                |
| 第60回 | 平成27年<br>8月4日                | 岡垣町<br>岡垣サンリーアイ              | 「地域に活力を生み出す公民館の役割」                                                 | 講演<br>シンポジウム           | 「活力を生み出す公民館」                                                      |
| 第61回 | 平成28年<br>8月10日               | 久留米市<br>久留米シティプラザ            | 「ひとを育て、まちを育む公民館力」                                                  | 講演<br>インタビュー・<br>ダイアログ | 「地域の課題解決に向けて、『公民館』はどうあるべきか？」                                      |
| 第62回 | 平成29年<br>8月10日               | 筑後市<br>サザンクス筑後               | 「公民館が核となった人づくり・まちづくりの可能性を求めて」                                      | 講演<br>インタビュー・<br>ダイアログ | 「持続可能な地域づくり・人づくりに向けた公民館の可能性は？」                                    |
| 第63回 | 平成30年<br>8月10日               | 飯塚市<br>イヅカコスモスコモン            | 「持続可能な地域に向けて 公民館が進む道」～この時代だからこそ必要とされる地域の拠点であるために～                  | 講演<br>インタビュー・<br>ダイアログ | 「地域を元気にする公民館の仕掛け」<br>「地域を元気にし、住民から必要とされる公民館」                      |
| 第64回 | 令和元年<br>7月26日                | 荏田町<br>中央公民館                 | 「持続可能な地域づくりに向けて 公民館が進む道」～地域住民を巻き込む一体的な取組を創造する公民館活動～                | 講演<br>パネル<br>ディスカッション  | 「魅力ある地域づくりを担う公民館の役割を創造する」<br>「持続可能をめざした地域づくりに向かう公民館活動の在り方」        |
| 第65回 | 令和2年<br>10月5日<br>～<br>10月30日 | WEB動画配信                      | 「持続可能な地域づくりに向けて 公民館が進む道」～「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか～  | パネル<br>ディスカッション<br>座談会 | 「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか                           |
| 第66回 | 令和3年<br>11月8日<br>～<br>11月26日 | WEB動画配信                      | 「持続可能な地域づくりに向けた公民館活動の在り方」今こそ、地域を結ぶ新しい時代の公民館～温故知新～                  | 分科会(8)<br>記念講演         | ※第72回九州地区公民館研究大会（福岡大会を兼ねる）                                        |
| 第67回 | 令和4年<br>8月24日                | 糸島市<br>九州大学椎木講堂              | 「持続可能な地域づくりに向けて 公民館に求められるもの」～「つどう」「つながる」公民館活動～                     | 講演<br>パネル<br>ディスカッション  | 「持続可能な地域づくりに向けて、公民館に求められるものとは」                                    |
| 第68回 | 令和5年<br>8月3日                 | 岡垣町<br>岡垣サンリーアイ              | 「ウェルビーイングの実現を支える地域コミュニティの拠点としての公民館活動の在り方」～これからの人づくり・つながりづくり・地域づくり～ | 事例発表<br>トークセッション<br>講演 | 「ウェルビーイングの実現を支える公民館活動の取組」<br>「ウェルビーイングの実現をめざした人づくり・つながりづくり・地域づくり」 |





2024年度 (2024年5月1日午後4時～2025年5月1日午後4時)

# 公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

## 3つの補償で公民館活動をサポート

### 1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

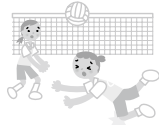
#### 保険

- 公民館行事参加者のケガを補償
- 公民館利用者のケガを補償
- 行事往復途上のケガを補償
- 行事の事前練習や事前準備、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

#### 見舞金制度

- 疾病や特定傷害に、疾病死亡弔慰金、疾病入院見舞金をお支払いします。
- 特定災害による損害に、特定災害見舞金をお支払いします。

#### 【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

### 2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)】

#### 保険

- 公民館の施設・設備等\*の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償

※公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

\*施設にある昇降機(エレベーター、エスカレーター)の所有、使用、管理に起因する賠償責任も含まれます。

#### 【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

### 3. 職員災害補償

【傷害総合保険[就業中のみの危険補償特約、入院保険金支払限度日数変更特約(支払限度日数180日)]+見舞金制度】

#### 保険

- 公民館事業や業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

#### 見舞金制度

- 公民館事業や業務に携わる方の病気や特定傷害、業務外のケガ、業務中の地震によるケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払いします。

#### 【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

## 公民館総合補償制度の特長

### (1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

#### ★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊を伴う行事も対象です。

### (2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要です。うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

### (3) 掛金の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償制度掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償の保険料には、団体割引25%、過去の損害率による割引15%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『2024年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

#### ■引受保険会社

#### 損害保険ジャパン株式会社

公務文教営業部 文教室  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
TEL 03-3349-4679 FAX 03-3348-0238  
(受付時間：平日9:00～17:00)

#### ■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

#### エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9  
TEL : 0120-636-717 (通話料無料)  
FAX : 0120-226-916 (通話料無料)

# 福岡県公民館連合会ホームページ

つどい、まなび、むすぶ

福岡県公民館連合会

福岡県公民館連合会は、公民館相互の連絡連携をはかる  
様々な取り組みを行い、社会教育の発展に寄与します。

## 新着情報

全て 大会 交流会 研修会 活性化研修 その他

2023.11.30 ネットワーく157号を公開しました

2023.11.30 令和5年度県内公立公民館等一覧を更新しました

2023.11.07 令和5年度公民館地区別研修会(北九州市)について

一覧を見る >>

旧サイトのアーカイブはこちら >>

福岡県公民館連合会

検索

<https://www.fukuokaken-kominkan.jp/>

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。



ワード検索

Google 検索

知る



県公連紹介



県公連沿革



県公連加盟機関



県内公立公民館等一覧



事務局名簿



マスコットキャラクター  
コーミン

公民館情報

ねっとわーく

11月号  
No.157

特色ある公民館活動



イスタム文化広場（北九州市）



水鏡で愛する人（福岡県）



スリム教室（大牟田）



プランターで野菜づくり（福岡県）

市町村のページ（特集：特色ある公民館活動）  
・本県をめぐって（特集） 第157号（11月号） 北九州市立二島市民センター 11頁  
・区公民館人権啓発研修会の開催 第156号（10月号） 福岡市公民館 12頁

年 3 回発行  
県公連と県内公民館を  
結ぶ情報誌

参加する



福岡県公民館大会



公民館実践交流会

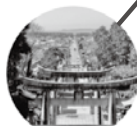


地区別研修会



公民館事業

読む・調べる



ねっとわーく



公民館福岡



福岡県公民館大会資料

公民館福岡

公民館連合会

HOME 県公連について 大会・交流会・研修情報 県公連ライブラリー

公民館に関する研究資料としての専門誌！



バックナンバー

|                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ▶ 第106号（令和4年度）  | ▶ 第105号（令和3年度）  | ▶ 第104号（令和2年度）  |
| ▶ 第103号（令和元年度）  | ▶ 第102号（平成30年度） | ▶ 第101号（平成29年度） |
| ▶ 第100号（平成28年度） | ▶ 第99号（平成27年度）  | ▶ 第98号（平成26年度）  |
| ▶ 第97号（平成25年度）  | ▶ 第96号（平成24年度）  | ▶ 第95号（平成23年度）  |
| ▶ 第94号（平成22年度）  | ▶ 第93号（平成21年度）  | ▶ 第92号（平成20年度）  |
| ▶ 第91号（平成19年度）  | ▶ 第90号（平成18年度）  | ▶ 第89号（平成17年度）  |

過去の実践交流会資料



久留米ラーメン



久留米焼きとり



久留米つつじ